



図書館だより

2022年9月号 NO. 394
北茨城市立図書館
茨城県北茨城市磯原町本町 2-5-16
TEL 0293-42-1451



「学んだりゆらいだりしている」

今年の夏は、とにかく夏らしい夏だった。

3年ぶりの夏休み。図書館のイスが隙間なく並べられていて、滞在の時間制限もない。おはなし会も開催するし、そもそも臨時休館がない。

ありがたいことに、連日たくさんの方にご来館いただいた。小学生のみなさんの、自由研究に関する本を探したり、課題図書の本棚がスカスカになったり、学童さんがたくさん遊びに来てくれたり、一日に5枚くらい新規利用貸出カードを作ったり、「そうそう、夏休みってこうだった!!」とつくづく感じ入る日々。

暑い暑い夏休みを、一日一日積み重ねて、たまさか図書館に来た日、思いがけない本との邂逅を果たした、幸運な方はいるだろうか？

忙しい日もあれば、なんだかのんびりしている日もある。人知れず腑に落ちたり、馬鹿みたいな大ボカをする日もある。

図書館という、小さいような大きいような世界の片隅で、夏の終わりを惜しみつつ、今日も今日とて、学んだりゆらいだりしている。

By ミカゲ

《 図書館カレンダー 》 ■ = 休館日です。

★ 開館時間 : 午前9時30分~午後6時 ★

☆ 2022年9月 ☆

☆ 10月 ☆



日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

「わたしを離さないで」

一般書 933 イ カズオ・イシグロ／著 早川書房

キャシー・H 31歳。介護人として11年 あと8ヶ月で12年になる。キャシーは提供者の介護をしている。提供者の回復が早いと今年いっぱい働くことにしたのだ。

幼い頃キャシーはヘルシャムという所で共同生活をしていた。施設には保護官がいて子供達のお世話をしている。そしてこの施設からはけして出られないのだ。

キャシーにはルーズ、ローラほか仲良し5人組。年に2,3度外の世界から「マダム」という人が来る。しかし「マダム」の訪問は秘密。

友だちのルーズは「私たちのこと怖がってる」と言い出し「マダム」の訪問日を調べ「マダム」の前に現れてみることにした。「マダム」の足は止まり体は硬直し「マダム」の表情は恐れおののきうっかり触れられはしないかという嫌悪と身震いを抑えようする必死の努力が見られた。ヘルシャムの子供達は外の人間とは違う。子供達はどう生まれ、なぜ生まれたのか。子供の運命 提供とは…大人になってからの介護人 提供者とは…

近い未来このようなことがあるのか。それともすでに存在するのか。

ちょっと怖く考えさせられるお話です。

by ぞらみ

～歴史を見てきた「家」の絵本～

『百年の家』 J.パトリック/作 ロベルト・インノチェンティ/絵 講談社

『やとのいえ』 八尾慶次/作 偕成社

『あの湖のあの家におきたこと』 トーマス・ハーディング/文 クレヨンハウス

この3冊の絵本は、私がおススメの「家」の絵本です。

『百年の家』はイタリアの絵本です。廃屋となった石づくりの家の物語です。打ち捨てられた家に手を加えて、人が住むようになり、やがて、戦争や、次の代の住む人の様子など、長い歴史が繊細なタッチで描かれています。何度眺めても飽きることのない絵本です。

次の『やとのいえ』の舞台は日本。なだらかな丘の自然とそこに暮らす人々の150年。住む人や周囲の風景は変わりますが、道ばたの十六羅漢さんは変わらずに見ています。

最後に『あの湖のあの家におきたこと』はベルリンにある実在の家のおはなしです。100年近く前、湖のほとりにこの家を建てたのは作者のひいおじいさんです。ナチスによって家を追われたおじいさん一家、そして次の住人の音楽家の戦争に行くことになり家を出ます。

3つの物語の家は、国も住んでいる人も違いますが、住む人の幸福も、不幸も、黙って見守っていくところは同じです。そして、それぞれの国で戦争が起こることも。ある時は、住む人がいなくなりますが、家は何も言わずにじっと建っています。楽しい時も悲しい時も。私たちは、家の長い歴史の中で、ほんのひとときにすぎないのかもしれない。さて、みなさんが今暮らしている家は何を見てきたのでしょうか？

by ビクトリア

図書館員のひと一言





♪ 新着図書の中から、職員がお薦めの本を紹介しします。♪

◇「リラックマの「ごゆるい」セルフケア」◇

一般書 146/1 根本 裕幸/監修 リベラル社出版

予約3ヶ月待ちの人気カウンセラーが監修したメンタルの不調とさよならする100の方法が、書かれています。

ほっとするメッセージと心を癒すコツを、かわいいリラックマたちが紹介してくれます。ここ数年、何かと緊張やストレスが多いこの世の中ですが、心をゆるめるひと時を、あなたにお届けします。

さあ、ごゆるりと心のセルフケアをしてみませんか？

by ライム

◇「きっと、大丈夫」◇

児童書 913イ いまた あきこ/作 黒須 高嶺/絵 文研出版

事故で亡くなったお兄ちゃんとの約束は「アゲハチョウになるまで育てよう！」一年後、消えない悲しみの中、咲良は友だちと一緒にアゲハチョウを育てることを決める。たまごから幼虫、チョウになるまでの飼育方法や成長していく過程が細かく描かれています。

そして、アゲハチョウとなり飛びたつころには、両親、咲良とも少しずつ笑顔がふえ・・・切ない中にも命の尊さやあたたかさを感じられる一冊です。

by ケドガー

◇「ワニのガルド」◇

児童書 913オ おーない 由子/作・絵 偕成社

ある朝、ヒナちゃんの前にみどり色のワニがあらわれます。人間みたいに話すし、おっさんみたいだし。しかも・・・おばけ！どうやら、さびしい人にしか見えないみたい・・・。

物語の中の景色の描写が素敵です。ガルドの言葉もなんだか心に染みます。大人の方にも読んでいただきたいです。



by チョビコ



◇「ちびちびパンダ」◇

児童書 E千ピ みやにし たつや/作・絵 金の星社

ちびちびパンダって、しってる？ とっても ちいさいパンダだよ。おともだちは、トンボくん。本だなや、おもちゃはこのなかで、くらしているよ。

ちっちゃいから、あぶないこともいっぱいある。足でふまれそうになったり、ゴキブリにたべられそうになったり、イヌにおいかけられたり…。でも、ちびちびパンダはまけない！

あなたのお家にも、ちびちびパンダがくらしているかも？

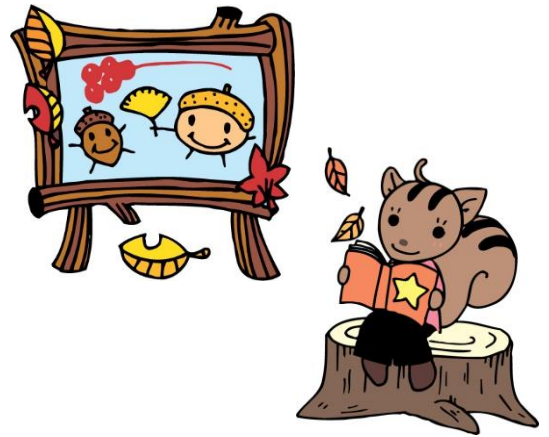
by みーやん



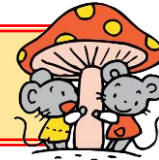
「おはなし会」のお知らせ

- ☆ 図書館おはなし会 ☆
9月7日(水)・14日(水)・21日(水)
午前10時～10時30分
- ☆ エプロンひろ子さんのエプロンシアター ☆
9月10日(土) 午前10時～10時30分
- ☆ メリアンさんの英語のおはなし会 ☆
9月17日(土) 午後2時～2時30分
- ☆ ぽっぽのおはなし会 ☆
9月28日(水) 午前10時～11時

すべて参加自由・無料です。
場所は1階絵本コーナーです。



9月企画展示紹介



1階企画展示テーマ 「かつてない不思議」

色んな世界の「ふしぎ」な本が大集合しちゃいました！
知らないことを知るのってすごくワクワクしますよね♪
本を開けばそこはもう「不思議な世界」！
次のページをめくるのが待ち遠しくなっちゃうかも…!?

2階企画展示テーマ

「ちょっと休憩しませんか？
いつも頑張っているあなたへ…」



夏の暑さもだんだん落ち着いてきて、ホッ…と一息。
頑張っあつーい夏を乗り切ったあなたに読んでほしい、そんな本
を集めてみました。
心が休まるひとときのおともにぜひ…♪